

## 実践事例 1

志教育の視点

かかわる

もとめる

はたす

**活動名** 小泉っ子 ふれあいフェスタ  
[幼稚園・地域住民との交流]

全学年  
教科・領域名 特別活動〈児童会活動〉  
実施月 11月

### 活動のねらい

- ・ 計画立案，準備，実践する活動を通して，児童一人一人に自主的，実践的な態度を養う。
- ・ 会の成功を目指して自分の役割や責任を果たすことにより，集団の一員としての自覚を深め，協力してよりよいものをつくろうとする態度を養う。
- ・ 地域の人々との交流活動を通して，心の交流を深めるとともに，地域の人々を敬愛しようとする心情と態度を養う。

### 志教育との関連

- ・ 他学年や校外の人々と関わり，自分の役割を自覚してその責任を果たそうとする。

### 活動実践の概要（平成27年度 実施）

#### 1 事前の準備

- (1) 幼稚園，中学校，公民館，地域の方々に向けてポスターを作成し配布する。
- (2) 児童が考えた「ふれあいフェスタ用のマスコットキャラクター」（学校や地域に関するもの）を掲示し，コンテストを行う。



#### 2 開会式

- (1) マスコットキャラクター表彰式
- (2) 児童が出す店の紹介
- (3) ふれあいフェスタに関するクイズ



#### 3 児童の出店による交流活動

- (1) 前半，後半の2部制
- (2) 出店の内容（平成27年度）
  - 室内ボーリング，もぐらたたきゲーム，おみくじ 等



#### 4 閉会式

- (1) 感想発表
- (2) 御礼の言葉

#### 5 事後の指導

- (1) 地域の方に書いてもらった感想などをもとに，学級，代表委員会で振り返りを行う。

### 成果

- ・ 地域の人々に喜んでもらえるように，計画に合わせて自分の役割を果たし，協力してよりよい会にしようとする態度が見られた。
- ・ 自分の役割や責任を果たし，相手のために役立つ喜びを体験することができた。

### 課題

- ・ 毎年の活動内容が似ており，児童数も減少している。視点を変えて活動の内容を見直していきたい。